

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2022年6月14日

雨季の気象予測と防災対策について

2022年 雨季の気象予測

水利部で、6月から中国は本格的に雨期に入った。大気の活動が活発になり、強い雨が降りやすくなるため、暴雨や洪水災害への備えが重要となる。

表1は、主要都市における今年の雨期の気象予測を整理したものである。

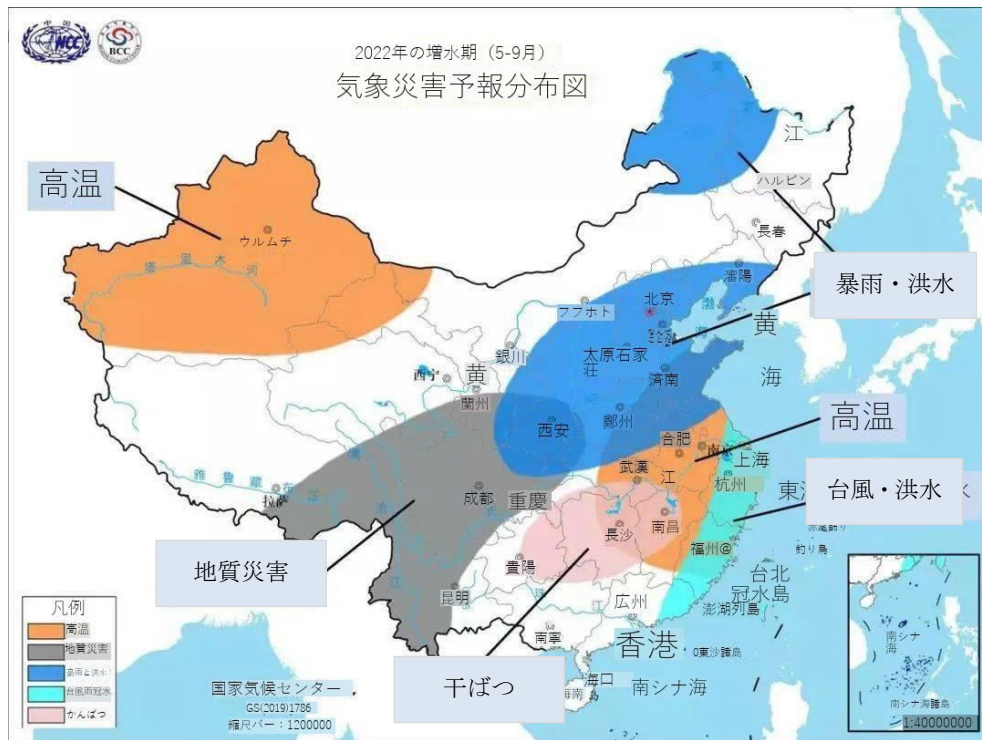
表1. 沿海部主要省市の気象予測情報

| 省市 | 予測情報 |
|------|---|
| 中国全体 | 国家気候センターが5月30日に公表した最新の予測によると、今夏、北西大西洋や南シナ海で発生する台風は7~10個であり、例年(11個)よりやや少ない。このうち中国に上陸する可能性のある台風は4~5個とされており、こちらも例年(4.7個)と同程度である。台風の全体的な強度は弱めであり、北西へ向かうルートが主になる(台風が北上する可能性が高い)。 |
| 広州市 | 広州気象局が公表する今年の広州市における雨季(4月~9月)の予測は下記のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 総雨量は1400~2000mmであり、例年よりやや多い。当該期間の前半は降雨が少なく、後半に降雨前期の降雨が集中する(特に「龍舟水」の時期)。 台風、強い対流、ゲリラ豪雨、洪水や高温などが顕著に見られる。 降雨の時期が集中することにより、局所的な洪水・地質災害が発生する。 |
| 深圳市 | 「激しい降雨の際には、局地的な強風、台風による風雨等により、高温となる」特徴が示されている。深圳市から500km範囲内に5~7個の台風が接近するとされており、そのうち4個の台風は強い勢力を持ち、大きな影響を及ぼす。 |
| 上海市 | 降水量はやや多くなる(梅雨の降水量は例年並み)。また、台風に伴う暴風の影響により、高潮(増水)が発生する。 高温となる日数は例年と同程度である(場合によってはやや多い)。 |
| 浙江省 | 4~5個の台風が浙江省に影響を及ぼす(このうち2~3個の台風は上陸するなど、特に大きな影が生じる)。また、南東沿岸地域における台風の影響は、昨年よりも大きい。 |

| | |
|-----|---|
| 江蘇省 | 江蘇省気候センターが公表する最新の雨季予測によると、今年の雨季の降水量は例年よりやや多いまた、江蘇省に影響を及ぼす台風の数 は2~4個とされており、こちらも例年よりやや多い。 |
| 福建省 | 福建省洪水管理局の情報によると、今年、福建省に上陸する（または影響を及ぼす）台風は6~7個とされており、例年（6.9個）と同程度である。 |

**（出典）各省市気象局公式HP、光明HP等主要メディアの気象ニュース報道

図1. 2022年増水期（5-9月）の全国気象災害予報図



（出典）国家気候センター

防災対策

大雨に伴う洪水、落雷、浸水等の災害は工場企業における安全の大きな課題である。対策を講じていても、不可抗力による被害が発生する場合もあるが、工場への被害を最低限に抑えるために各種防災対策を講じる必要がある。

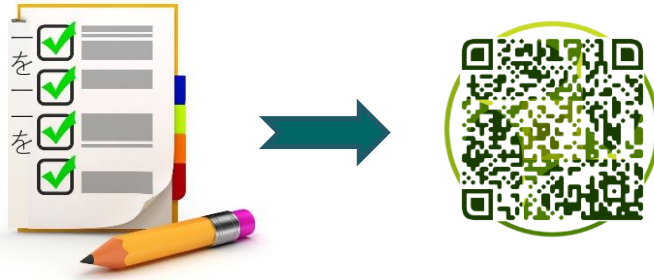
次頁の表を参考に防災対策を実施いただきたい。

台風、豪雨の防災対策チェックリスト（2022 更新版）

| 分類 | | 項目 | 確認 |
|------------------------------|-------|---|----|
| 建物 | 屋根 | 屋根の防水層の劣化や亀裂の点検・修理ができているか。 （特に過去に浸水、漏水があった場所） | |
| | | カラー鋼板等の接合部位に緩みや反り上がりがいないか。 | |
| | | 屋根の排水溝や下水道に詰まりはないか。 | |
| | | 避雷設備（避雷針、引き下げ線、接地極など）を点検しているか。 | |
| | | 屋根周辺の風の影響を受けやすい部位に変形や捲れ、ネジの脱落がないか。 | |
| | 外壁 | 外壁にひび割れや剥がれがないか。留め付け金具に緩みがないか。 | |
| | ドア、窓 | 風の影響を受けやすい窓やドアはしっかり固定されているか。 | |
| | | 窓にパイプの貫通による隙間、ひび割れや破損がないか。 破損している箇所は修復されているか。 | |
| | | 飛散物によるガラスの破損防止対策（窓への保護フィルム・網戸の設置・強化ガラスの採用など）を講じているか。 | |
| | シャッター | 耐風性を高めるため、支柱を設置するなどの補強を行っているか。 | |
| | | ガイドレールに腐食がないか。シャッターをスムーズに開閉できるか。 | |
| | 仮設建物 | 簡易キャノピー（伸縮式）では、可能な限り、製品・原材料などの重要財物を保管しないようにしているか。 | |
| | 屋外 | 屋根の看板、排気管、吊り物などを補強し、強風で倒れないように固定措置を行っているか。 | |
| 敷地内の旗竿、カーポート、樹木などの補強を行っているか。 | | | |
| 貨物・在庫品 | 室内保管 | 在庫は外壁、窓から少なくとも0.5メートル離れているか。 | |
| | | 屋内の配水管の直下に重要な設備や在庫品が置かれていないか。 | |
| | | 高価な精密機器設備や原材料、製品等は、パレット上に置くなどして少なくとも30cm以上嵩上げしているか。 | |
| | | 屋外の水が屋内へ浸入するのを防止するため、作業場、倉庫、電力設備などの建物入口に十分な土のうや遮水板（20cm以上）を設置しているか。 | |
| | | 緊急時に物資を守るための防水シート・カバーなどを用意しているか。 | |
| | | 重要な生産データ等はバックアップを安全な場所に保管しているか。 | |

| | | |
|--------------|--|--|
| 屋外保管 | 台風が来る前に、屋外の保管貨物を屋内の安全な場所に移動させているか。 | |
| | 強風で飛ばされやすい保管物について整理整頓、清掃を行っているか。 | |
| | 屋内への移動が難しい保管物は防水シートでカバー・固定しているか。 | |
| | 危険物・有害物質の漏洩防止対策（保管容器の密閉、保管倉庫の施錠・移動など）を講じているか。 | |
| 排水等 | 排水ポンプと非常用発電機は十分な燃料を準備しているか。 | |
| | 構内の水が溜まりやすい場所（土地が低い箇所、排水管の径が不十分な箇所など）を把握しているか。 水が滞留した場合の対応を検討しているか。 | |
| | 建物周辺の排水溝を清掃し、スムーズな排水を確保しているか。 | |
| 緊急対策 | 河川や湖の近くに位置する企業は、気象部門が公表した気象警報と水位上昇をモニタリングしているか。 | |
| | 緊急対応チームを組織し、役割を明確にしているか（チームメンバーには、緊急対応グループの総指揮者、早期警戒要員、物資救援要員、避難疎開要員、事後復旧要員などを含む）。 | |
| | 気象警戒レベルに沿った行動プランを整理しているか（青色暴雨警報＝工場の屋根の状況を点検開始 赤色台風警報＝生産停止に備えた準備を開始し、人員を移動する等など）。 行動プランを文書化し、社員に周知しているか。 | |
| | 災害が発生する前に、十分な人員の手配、パトロールの実施が行われているか。 屋内パトロール計画を策定し、屋根の漏水状況、排水管の排水状況、地上の冠水状況などのチェックし、適宜報告するルールがあるか。 | |
| | 運転停止に時間を要する設備（高温炉などの作業工程）について、運転停止に関する手順を事前に検討しているか。 | |
| | 浸水による漏電、突発的な停電による機器被害を防止するため、予め電源を切る、プラグを抜くなどの対策を講じているか。 | |
| 従業員避難 | 安全な避難について、安全教育・訓練を実施しているか。 | |
| 災害復旧計画 (BCP) | ハード面の対策に加え、災害が発生した後の早期復旧を行うための対応手順や、工場が被災して生産不能となった場合の代替生産の可否などについて検討しているか。 | |

チェックリストは、微信のQRコードからダウンロードすることが可能です。



参考資料：

- 1、各省市気象局公式HP、各メディアの報道
- 2、表紙イラストは千図網（www.58pic.com）の許可を得て使用しています。

以 上

執筆 インターリスク上海 コンサルティング部 高級経理 楊奥

瑛得管理諮詢（上海）は、中国・上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）
 上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心34楼 T10室-2
 TEL:+86-(0)21-6841-0611（代表）



瑛得公众号